

井澤登一 著、生没年不詳。通譯官として白耳義領事館、陸軍勤務。
 また乃木大將家子女の家庭教師を務めた。
 譯著書、ハツケル著『戦線』(上)として『一名獨逸の肉弾』(譯、大正五年八月二十八日全誠堂書店)、上原勇作述『國と女』(編、大正十年十一月二日日本家政協會、東京堂發賣。附載・下田次郎「母性中心主義」)、『義烈、莊一東洋平初發祥之地』(昭和八年四月九日神奈川・鎌倉史蹟研究會)、口母とここの乃木夫人』(昭和九年四月十七日實業之友社)等。

